



## 中学校で学力アップ

粕屋町は、中学校での学力向上に成果を上げている。この背景には、就学前や小学校、家庭での身につけておくべき達成目標があり、それが、結果的に学習規律の定着につながっているとの説明があった。また、小学5年生が中学校に行き、中学生が学習指導をするなど、児童・生徒それぞれの学習意欲を喚起する工夫がなされていた。我が町も学習規律の定着と学習意欲の向上への取り組みが必要と改めて痛感した。



福岡県粕屋町

## 熊本県山江村



我が町もICT教育推進に向けて準備を進めているが、効果的に何うするか、必要かつ実際の授業の現場を通じて確認できたことは大いに参考になった。

山江村は、国の研究指定を受け、ICT教育を推進した。授業には担任教諭、学習補助スタッフと、機器に不具合が生じた時に対応する技術者の3人体制で行っていた。児童の使用しているタブレットは、全員の考え方が大型スクリーンに映し出され、教員はそれを基に、グループ学習をしていた。また、ほかにも外国や他県の小学校とモニターを使っての交流やロボットを使つてのプログラミング教育なども行われている。

ICT機器の活用で  
全国トップクラスの学力達成

## 要配慮者の避難所運営計画を策定予定

益城町では、震度7の地震に二度も見舞われ、対策本部となるべき庁舎も機能不全になり、屋外に災害対策本部を設置した。福祉避難所を町内、町外の福祉施設と協定を交わし、現在16カ所を指定しているがまだ足りないとのことであった。

我が町も、福祉避難所は2カ所しかなく要配慮者への把握を進めているが、機能的充足や広域連携を、できるだけ速やかに進める必要を感じた。



熊本県益城町



## 岩手県花巻市



道のインターチェンジがあり、立地条件には申し分なく、コーディネーターの配置など特色のある企業誘致施策の必要性を提言した。

花巻市では、企業誘致の支援で融資などのほかインキュベート施設「花巻市起業化支援センター」を開設し、コーディネートが、新規創業・地場企業支援の『内発型振興』を行っている。我が町も近隣に圏央

インキュベート施設で  
『内発型振興策』

## 岩手県紫波町



性・利益追求もできた。我が町でも箱根ヶ崎駅西側開発でP・P・F方式を参考として検討することを提言した。

紫波町は、オガールプロジェクト（P・P・F）で紫波中央駅西側に公共施設を一括整備し、定住人口を増やし、エリアを活性化し、地域の価値を上げた。民間企業の資本・技術の提供、綿密な事前調査・計画・実施のスピード化で、施策の着実

10年以上放置の町有地PPP  
(公民連携)で整備・開発

## 『幸福感を日本一実感できるまち』を目指して

滝沢市では、総合計画で「幸福感」を世代・場面ごとに住民が主体的に考えて、それを測る「指標」を求め、市内の計画地域で課題解決およびみんなが共感できる幸福感づくりのため行動している。我が町も地域の課題に、アンケートの実施や地域住民とのワークショップの開催など、住民の意向を反映した計画を、策定すべきであると提言した。



岩手県滝沢市

◎委員長  
森隆夫  
◎副委員長  
石川国広  
古宮郁夫(議長)  
下野義子  
香取幸子

◎委員長  
山崎栄  
◎副委員長  
小澤章夫  
古宮郁夫(議長)  
小山典男  
柚木克也